

# 近畿が反転攻勢の先頭に

参院選  
比例5議席、  
大門さん必勝を

## 「近畿はひとつ」で たたかう

来年夏の参院選まで7カ月。日本共産党は衆院比例の416万票を起点に反転攻勢に転じ、「全国はひとつ」で比例5議席実現へ全力をあげます。

近畿6府県が必勝をめざす予定候補は大門実紀史参院議員。久しぶりに一人の必勝候補を「近畿はひとつ」でたたかえる選挙です(2010年の市田忠義参院議員以来)。

近畿ブロックは総選挙で2議席にとどまり、得票は過去2番目に少ない73万6,156票という残念な結果でした。しかし一番少なかった2012年総選挙(73万2,976票)の翌年の参院選では101万票余りを獲得、その翌年14年総選挙では108万4千票余りで比例4議席を獲得しました。

今回も同様に参院選で躍進・勝利を勝ち取って政権交代への足掛かりを築き、次期総選挙へ向かいましょう。近畿が反転攻勢の先頭に立ちましょう。

## 格差拡大の新自由主義と対決 建設的提案で政治動かす

### 経済論戦の第一人者

大門さんは参院議員4期目。財政金融委員会に所属、誰もが認める「経済論戦の第一人者」です。「議場が大門さんの味方になってしまう」(元閣僚)ほどで、安倍元首相、麻生前財務大臣も耳を傾けざるを得ません。実績も論戦力も抜群。最高の候補者です。



●1億円の壁 岸田首相は自民党総裁選で「金融所得課税の強化」を打ち出し、所得が1億円を超えると税負担率が下がってしまうことを問題にしました。しかし総裁選が終わると一気に腰砕け。この「1億円の壁」は株主配当への金融所得課税が引き下げられたことから起きるもの。大金持ち優遇、税の不公正さを示しています。大門さんが独自にグラフをつくり、2008年3月の予算委員会で初めていただきました。このグラフは今や財務省やOECDも使うようになっています。

●持続化給付金 コロナ禍、5.5兆円の最大の中小企業支援策となった持続化給付金。大門さんは昨年の参院決算委員会で、ドイツで実施された支援策の資料を使い、日本でも直ちに支援を行うよう要求しました。当時の安倍首相は「現実的な提案をいただいた」と答弁。その後、内閣府の職員が「総理に言われて来た」とドイツの資料を取りに来ました。大門さんの質問から約2週間後に出てきたのがドイツモデルの持続化給付金。当初は不十分な制度でしたが、運動と論戦で一ランスや個人事業主にも拡充させてきました。

**大門さんのプロフィール** 1956年京都市生まれ。神戸大中退。本家は大阪・交野市の造り酒屋。党参院国対副委員長。趣味は山歩き、絵本の収集。エッセイには多くのファンが。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 50(2021.12.3)